

2012年3月期 決算説明会

ecreo)

ZeeM

 **FUDEMAME**

SmartStage
Design the next ICT style

株式会社クレオ
2012年5月15日

¹ **ecreo**)



決算概要

2012年3月期 決算概要

(百万円)	2011/3期 実績	2012/3期 実績	増減額 前年比
売上	9,497	9,856	3.8%
営業利益	29	356	—
経常利益	42	366	—
当期純利益	△339	404	—

2012/3期 期首予想	増減額 業績予想比
10,400	△5.2%
150	137.6%
150	145.6%
100	304.2%

※2012/3期期首予想は2011/4/28発表の数値（業績修正は2011/11/4、2012/2/10に発表済）

連結業績

- 売上は前年に比べ増加したが、震災の影響などによる受注不足により計画値に届かず
- 営業利益、経常利益は、2011年4月1日より会社分社化を実施し、各社事業の業務効率化等による収益性の向上に努めた結果、予想を上回る
- 当期純利益は、移転費用、ソフトウェア臨時償却に伴う特別損失が発生したが、本社移転に伴う補償等立退料を特別利益に計上した事により、増加

会社分割によるセグメントの変更について

・旧セグメント

<モバイル事業>

株式会社クレオ モバイル事業

<システム開発事業>

株式会社クレオ システム開発事業部
ソリューション事業部
関西システム事業部

<ZeeM事業>

株式会社クレオ トヨタビジネス推進室
プロダクト事業部
マーケティング統括部
ICTサービス事業部

株式会社クレオ ネットワークス

<コンシューマ事業>

株式会社クレオ 筆まめサービス事業部

<サポート&サービス事業>

株式会社クリエイトラボ
株式会社ヒューマン・ネットワーク

・新セグメント

<クレオソリューション事業>

<クレオマーケティング事業>

※旧クレオの管理系部門も含む

<クレオネットワークス事業>

<筆まめ事業>

<クリエイトラボ事業>



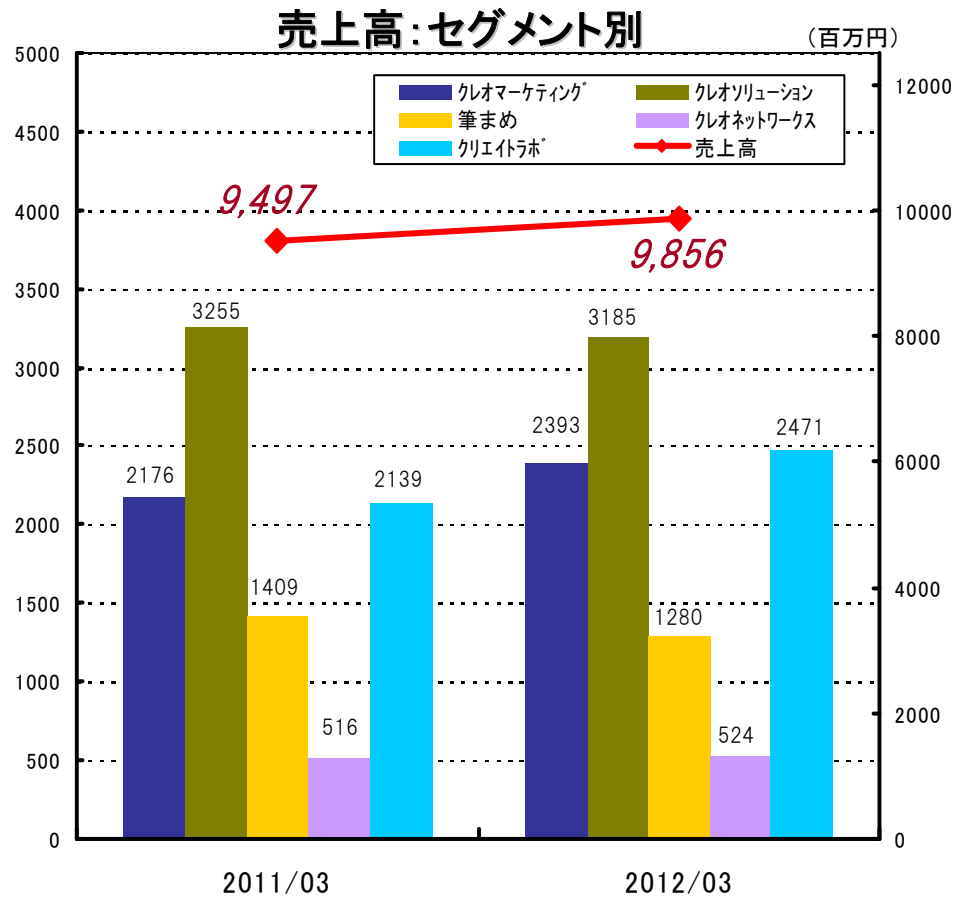
2012年3月期 決算の概要 補足

当社グループは、2011年4月1日付の会社分割により、先述の形にセグメントを変更しております。

セグメント変更に伴い、次頁・次々頁の売上・営業利益 前期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

但し、会社分割前の全社管理の共通費用は配賦不能営業費用(609百万円)としてグループ共通のシェアードサービスの機能を承継したクレオマーケティング及び持株会社へ組み替えた形となっております。前期との比較においてはその点を加味してご確認下さい。

2012年3月期 決算の概要(売上)



四半期別売上高

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
10/3	1,893	2,701	2,359	2,564
11/3	1,816	2,573	2,410	2,697
12/3	1,988	2,661	2,457	2,748

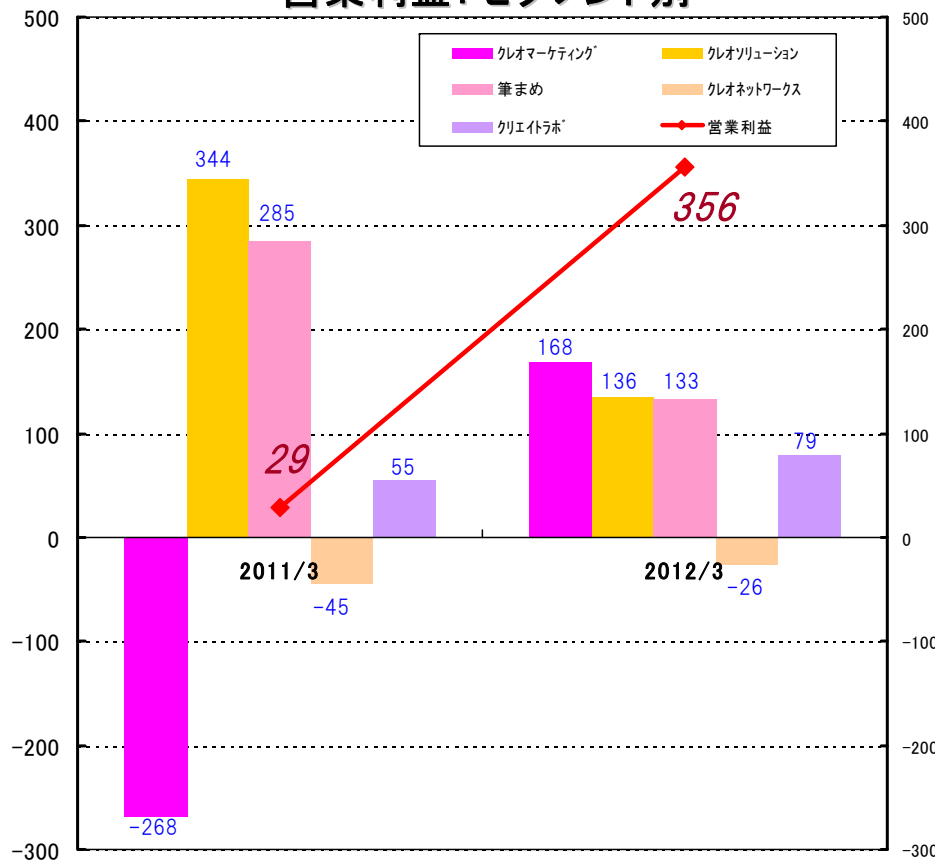
	2011/3期 累計	2012/3期 累計	増減額	増減率
クレオ マーケティング	2,176	2,393	216	10.0%
クレオ ソリューション	3,255	3,185	△69	△2.1%
筆まめ	1,409	1,280	△128	△9.1%
クレオ ネットワークス	516	524	8	1.6%
クリエイトラボ	2,139	2,471	332	15.6%
連結合計	9,497	9,856	359	3.8%

2011/3期累計は2012/3期累計のセグメント区分に組替

2012年3月期 決算の概要(営業利益)

営業利益:セグメント別

(百万円)



四半期別営業利益

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
10/3	-285	242	-35	140
11/3	-309	161	-53	231
12/3	-78	265	102	66

	2011/3期 累計	2012/3期 累計	増減額	増減率
クレオ マーケティング	△268	168	437	—
クレオ ソリューション	344	136	△208	△60.5%
筆まめ	285	133	△152	△45.2%
クレオ ネットワークス	△45	△26	18	—
クリエイティブ	55	79	23	28.6%
連結合計	29	356	327	—

※連結合計は上記表記以外にセグメント間取引の消去や全社費用(セグメント間取引消去)を加味した合計値となっております。

2012年3月期 損益計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕



主な科目	2012/3末			2011/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
売上高	9,856	100.0%	359	9,497	100.0%
営業費用	9,500		32	9,468	
営業利益	356	3.6%	327	29	0.3%
営業外損益	10		△3	13	
経常利益	366	3.7%	324	42	0.4%
特別利益	327		269	58	
特別損失	152		△254	406	
税引前当期利益（△は税引前当期損失）	541	5.5%	845	△304	-3.2%
法人税等	136		102	34	
少数株主利益（控除）	0		0	0	
当期純利益（△は当期純損失）	404	4.1%	743	△339	-3.6%

増減ポイント

＜売上高＞＜営業損益＞

「決算の概要」の通り

＜特別利益＞

本社移転に伴う補償等立退料による

＜特別損失＞

移転費用、ソフトウェア評価損の計上による

2012年3月期 貸借対照表の概要①

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2012/3末			2011/03末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
資産合計	6,512	100.0%	774	5,738	100.0%
流動資産	5,769	88.6%	917	4,852	84.6%
現金・預金	3,566		1,071	2,495	
受取手形及び売掛金	1,734		△187	1,921	
棚卸資産	288		29	259	
その他	181		2	179	
貸倒引当金	△2		2	△4	
固定資産	743	11.4%	△142	885	15.4%
有形固定資産	199		45	154	
無形固定資産	331		△72	403	
のれん	0		△48	48	
その他	331		△23	354	
投資等	212		△115	327	

増減ポイント

<流動資産>

・現金及び預金:

主に当期利益、
ビル移転による立退料に
よる増加

<固定資産>

・投資等

本社移転に伴う保証金戻り

2012年3月期 貸借対照表の概要②

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2012/3末			2011/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
負債合計	2,187	33.6%	351	1,836	32.0%
流動負債	2,084		357	1,727	
買掛金	336		26	310	
未払金および未払費用	529		△45	574	
その他	1,219		376	843	
固定負債	102		△7	109	
純資産合計	4,325	67.5%	424	3,901	68.0%
資本金	3,149		0	3,149	
資本剰余金	743		△685	1,428	
利益剰余金	531		1,088	△557	
自己株式	△123		△1	△122	
株式等評価差額金	0		0	0	
少数株主持分	24		20	4	
負債純資産合計	6,512	100%	774	5,738	100%

増減ポイント

<流動負債>

・未払金および未払費用:

固定資産の未払金の減少

・その他:

各引当金及び未払法人税等計上による増加

<固定負債>

・その他:

本社ビル移転に伴い資産除去債務取崩

<資本剰余金>

第38回定時株主総会承認による

利益剰余金欠損填補による取崩

2012年3月期 キャッシュフロー計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

区 分	2012/3末		2011/3末
	金額	増減	金額
営業活動CF	1,495	1,215	280
税金等調整前当期純利益	541	845	△304
減価償却費	299	△7	306
売上債権の増減額（増加：△）	187	339	△152
たな卸資産の増減額（増加：△）	△28	△107	79
仕入債務の増減額（減少：△）	26	△46	72
その他	470	191	279
投資活動CF	△401	△621	220
有形固定資産の取得	△177	△175	△2
無形固定資産の取得	△288	△17	△271
定期預金の預入/払戻	△10	0	△10
その他	74	△429	503
財務活動CF	△13	△17	4
短期借入れによる収入	20	△340	360
短期借入れの返済による支出	△40	315	△355
その他	7	8	△1
現金及び現金同等物の期末残高	3,566	1,081	2,485
3ヶ月超の定期預金残高	0	△107	107
現金及び預金	3,566	1,454	2,112

増減ポイント

<営業活動キャッシュフロー>

- ・当期純利益の発生及び
売上債権の増減額の減少により
営業CFが増加

<投資活動キャッシュフロー>

- ・有形及び無形固定資産の取得に
よる支出の増加

2013年3月期の計画



(百万円)	第2四半期累計		通期		
	2012/3期 実績	2013/3期 計画値	2012/3期 実績	2013/3期 計画値	増減額 前年比
売上	4,650	4,700~4,900	9,856	10,000~10,500	1.5%~6.5%
経常利益	192	150~180	366	400~500	9.2%~36.6%
当期純利益	204	100~140	404	350~400	△13.4%~△1.0%

当社では、今後の業績予想は「売上、経常利益、当期純利益」をレンジ予想いたします。

■ 2013年3月期の計画

- ・2012年3月期実績を維持し、売上・経常利益の更なる上積みを目指す。
(当期純利益に関しては前年度の移転に伴う特別利益などを考慮し減益を計画)
- ・配当は昨年度実績と同等(期末5円)を計画。



事業の概況

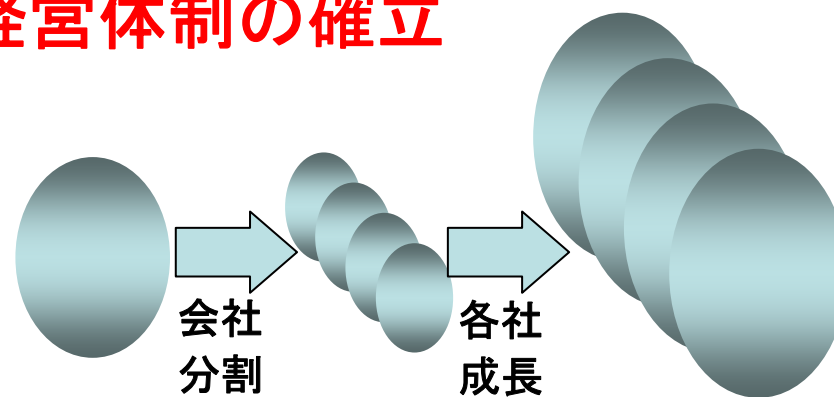
分社化を振り返って

分社化の目的

2011年4月、事業構造改革の一環として、株式会社クレオの会社分割と持株会社化を実施。

- ①事業毎の責任と権限の明確化
- ②スピード経営・自主独立経営の徹底
- ③各業種・業態に最適な経営体制の確立
- ④変化に対応出来る柔軟な経営体制の確立

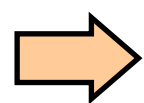
強固な経営基盤の確立並びに
成長促進を抜本的かつ
総合的に実現する。



分社化を振り返って



	分社前の課題	分社化による効果	結果
時間	スピード不足	事業責任者への 権限委譲	経営と現場の距離間が短縮され、スピードUP
モノ	事業特性に最適化していない	各社共通基盤と固有の仕組みを再整理	各社の事業に応じた品質・効率の最適化追求の実現
ヒト	固定業務に陥りやすく変化に対応が難しい	業務ローテーションや兼務による人材の多職能化	社員の利益への自覚意識向上
カネ	資源集中の選択が曖昧	持株会社はバランス制御 事業子会社は責任完結	短期事業損益明確化 中長期戦略の重要性



構造改革の成果が業績に着実に表れる形に！

この良い流れを踏まえ、更なる企業価値の向上を目指す

セグメント毎の概況

クレオマーケティング事業

- 年間を通じ、ZeeM「人事給与」「会計」「人材開発」「就業管理」を中心に売上・利益共に順調に推移した。
- 利益は昨年度発生した不採算プロジェクトの反省を踏まえ、体制変更・製品品質強化をした結果、不採算プロジェクトの発生を防ぐことができ、大幅に改善となった。
- 今期も、引き続き売上増・利益増を目指す。また、地域のカバーを充実する為に豊田分室を開設。

クレオソリューション事業

- 上期は、新会社設立に伴う、教育強化、プロジェクト進捗管理体制変更等により、不採算プロジェクトの発生を防ぐ事ができたが、下期に不採算プロジェクトが発生した。
- 利益に関しては、不採算プロジェクト発生分を、新規プロジェクトや経費削減でカバーしきれなかった。
- 今期も引き続きプロジェクト進捗管理強化に加え、SNSなど新規顧客獲得と既存顧客との連携強化を図る。

筆まめ事業

- 筆まめ（はがき・住所録ソフト）
新製品Ver.22シリーズの実売は前年を下回り、シェアも前年比を割る結果に。今期はシェア回復を目指す。
- プロアトラス（電子地図ソフト）
新製品SV7シリーズは昨年に引続き年間シェアトップとなった。
- 「BCN AWARD 2012」にて2年連続で3冠を達成。

セグメント毎の概況

クレオネットワークス事業

- 新サービスブランド ビジネス基盤サービス「SmartStage」サービス開始。
今期は、Web to Print ソリューションと共に受注増を目指す。
- 上期に受託請負案件にて不採算プロジェクトが発生した事により、売上・利益面で伸び悩む結果となった。

クリエイラボ事業

- 社員教育強化による個々人のスキルを向上は一定の成果がでており、利益増につながった。
引き続き同様のアプローチを続け個々の社員能力向上を図る。
- 関西系の体制強化ならびにアイティアイ社を子会社化、今期の受注増に期待。

その他

- 12月5日にクレオ(クレオマーケティング、クレオネットワークス)が港区高輪から港区港南に本社移転。

【ご参考】リリース一覧(2011年10月～2011年12月)

赤字: 主なIR 青字: 主なプレスリリース

10月	<ul style="list-style-type: none">・関電システムソリューションズ様「SmartStage BizPlatform」を導入・IaaS基盤サービス「N-CLOUDバーチャルDC」、「N-CLOUDバーチャルホスティング」を提供開始
11月	<ul style="list-style-type: none">・『筆まめ純正デザイン集Select2012』2011年11月1日(火)発売・『筆まめ年賀2012』2011年11月14日(月)発売・『プロアトラスSV7 Select』2011年11月29日(火)発売・メルパルク株式会社、ZeeM人事給与で人事給与業務基盤を構築
12月	<ul style="list-style-type: none">・ドコモ タブレット×「筆まめ年賀2012」キャンペーン2011年12月5日(月)開始・『筆まめおつきあい帳3』にGoogleカレンダー同期機能を追加・ビジネス運営のベストプラクティスを業務別に集約した『BizTemplatePack』を販売・『まめカレンダー』2011年12月21日(水)配信開始

【ご参考】リリース一覧(2012年1月～2012年3月)

赤字: 主なIR 青字: 主なプレスリリース

1月

- ・NTTデータイントラマート上海に『ZeeM人材開発』をOEM提供
- ・『筆まめBridal 8』2012年2月17日(金)発売
- ・『筆まめBridal 8 ハッピーボックス』2012年2月17日(金)発売
- ・クレオマーケティングとSATO社会保険労務士法人で業務提携

2月

- ・『筆まめVer.22 オールシーズンパック』2012年3月9日(金)発売
- ・ネオス株式会社、システム運用管理の業務品質を大幅に向上
- ・『スクール版 子ども新聞編集長』2012年3月16日(金)発売
- ・ハウコム、クレオネットワークス
クラウド型ヘルプデスクサービスの販売・サービス運用開始
- ・株式会社アイティアイ社の孫会社化に関するお知らせ

3月

- ・代表取締役の異動に関するお知らせ (4/1より社長が大矢から林に)
- ・太洋工業株式会社、ZeeM人事給与スリムパックの導入
- ・クレオ、グループ情報システムを仮想型プライベートクラウド基盤に集約

—ご清聴ありがとうございました—



<IR窓口> 株式会社クレオ 広報IRグループ : TEL03-5769-3640

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。